

滋賀県希望が丘文化公園活性化等検討懇話会第1回会議 議事概要

- 1 日時 令和元年10月31日(木) 15:30~17:00
- 2 場所 滋賀県立青少年宿泊研修所 211 研修室
- 3 出席者 委員：荒川委員、一ノ本委員、北辺委員、平田委員、山本(博)委員、
山本(千)委員、吉田委員
事務局：小林文化芸術振興課長、石野参事、澤村主幹ほか
- 4 議題
- (1) 座長の選出について
 - (2) 滋賀県希望が丘文化公園活性化等検討懇話会設置要綱等の説明について
 - (3) 公園の利用状況等の説明について
 - (4) 野外活動ゾーン・文化ゾーンの方向性および全体の活性化方策の検討について
- 5 会議概要 以下のとおり

	<p>(1) 座長の選出について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員の互選により平田委員が座長に選任された。 <p>(2) 滋賀県希望が丘文化公園活性化等検討懇話会設置要綱等の説明について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局から説明 <p>(3) 公園の利用状況等の説明について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局から説明 <p>(4) 野外活動ゾーン・文化ゾーンの方向性および全体の活性化方策の検討について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局から説明
座長	本日、視察された方について、公園の第一印象はいかがか。
委員	<p>青年の城について、都市科学研究所(中島龍彦)が当初の設計を行っており、高い塔がメタボリズムを象徴する建物として、設立当初は近畿圏でも注目を集めていた。それがなくなったのは残念だと思う。</p> <p>今日、施設内に入って見て、天井が高く、とても大きな空間について、昭和の頃のモダニズムが色濃く残っており、とても魅力的な建物だと思う</p>

	<p>た。この空間の魅力を上手に活用して、新しい物語（文脈）を作っていた だくのが良いのではと思う。</p> <p>委員 本日、施設を見た感想として、私たちが子どもの頃にあった建物がその まま残っている印象を受け、とても懐かしくなった。私たちの世代にとっ ては、懐かしく思うが、これからどういうものが必要になるのかを考えな がら、議論したい。公園施設全体、建物も芝生等、よく管理されていると いう印象を受けた。施設管理に努力されていると思った。</p> <p>基本計画に定められた整備方針を前提に、議論していくことでよいか。</p> <p>事務局 基本計画にはスポーツゾーンの各施設についての整備方針が記載されて おり、それは今後も継続して対応していく。また、文化ゾーン・野外活動 ゾーンは、民間活用を検討するとなっており、今回、それを踏まえて議論 をいただき、今年度末までに3案程度の運営方針として、まとめていき たいと考えている。</p> <p>委員 最近、県内でオートキャンプ場が増えてきており、私たちのガールス カウトのニーズに合っていない。</p> <p>希望が丘文化公園は近くて、安くて、安全。特に女性だけの活動となる ため、安全であることは大きい。また、常設テントがあり、備品が備わっ ているので、有り難い。キャンプ場のトイレは和式が多く、虫が入ってき て、子どもは嫌がる。東雨天活動場のトイレは洋式になっており、子ども たちはそちらに殺到する。シャワーも温水が出るものは少ないのでそれら の点は改善してほしい。ただ、私としては、この不便さを楽しんでほしい し、子どもたちに今の自分の生活が当たり前だと思ってほしくないと思う が、今の子どもにはそれは伝わらない。</p> <p>青年の城は、設立当初に比べて、車椅子用の部屋ができたり、洗面所が 新しくなったりと、部分的にはあるが改修され使いやすくなっている が、今の子どもたちには汚く見える。空間としては広くて良いかもしれな いが、使う側としては、冷暖房はもったいないと感じる。食堂のご飯は、 決まったものしか出てこないため、子どもたちは食べる量に差があるた め、量の調整ができればと思う。</p> <p>こういう施設は県内に他にないし、近畿地区や県全体の会議でもこの施 設を使う。この施設が完全に民間に移行してしまうのは良くないと思う。</p>
--	---

座長	<p>ここ以外で利用する施設はないのか。</p>
委員	<p>あまりない。便利な施設は、使用料が高いし、駐車台数も少ない。</p>
座長	<p>事務局から提示された方向にあまり絞られず、皆様のそれぞれの視点から、どういう方向に進むのが、将来の公園にとって、県民にとって良い方向になり得るのかをご意見をいただければと思う。</p>
委員	<p>県内公立の小中高校への意向調査は、非常に絶望的な結果になっており、衝撃を受けている。</p> <p>この資料を見る限り、指定管理料が高いとの印象を受ける。希望が丘文化公園は広いので、同様には考えられないが、当社で指定管理を受けている神戸市自然の家では、3,000万円の利用料金をすべて市に収め、いただく指定管理料は1億3,000万円で、食堂も運営し、1,500~1,600万円の利益が出ている。</p> <p>割り切れない部分があるかとは思いますが、文化ゾーン（青年の城）、野外活動ゾーン、スポーツゾーンの、各ゾーンの収支を試算してみないと、それぞれにどうしていくべきかが計りにくいと思う。</p> <p>兵庫県立南但馬自然学校では、指定管理料が約4億円で、利用が2万人、一人当たり一月で何万円使っているという計算をすると、恐ろしい税金が投入されて、利用されているという状況もある。納税をしながら、同様の商売をしている当社からすれば驚きの数字である。</p> <p>できるだけ細かく収支が試算できれば、ゾーンごとの運営をやっているのかどうか判断できる。</p>
座長	<p>実際に施設を経営されている方からすれば、どのように運営を持続できるのかという点もあるし、いつまでも税金を出し続けることについては、納税者に納得が得られるのかという点もある。</p>
委員	<p>野外活動ゾーンのような社会教育施設の類似事例としては、県の施設として過去に虎御前山教育キャンプ場が県立施設として整備されたが、廃止して、今は更地になっている。</p> <p>子どもたちが工夫したり、我慢したりといった不自由さを求める団体もある一方で、オートキャンプ場のように何でも揃っている施設へのニーズも高くなっている。</p> <p>その中で、希望が丘文化公園はどうするのが問われている。青少年教</p>

	<p>育施設としてのニーズがもともとあり、現在もそのニーズはあるが、学校においても野外活動の時間を見出せない状況になっている。また、県の施策として、全校に野外授業として、「うみのこ」「やまのこ」などがあり、それをやるだけで学校は精一杯であると思う。</p> <p>また、彦根市荒神山自然の家や、大津市立葛川少年自然の家があり、そちらも使われる。アクセスの面では悪くはない。子どもの質も変わってきているこの時代で、今のままでの野外活動ゾーンでは難しい状況になっている。</p> <p>アウトレットなど周辺施設とタイアップする手法はあると思っている。現状でなんとか工夫するというよりも、切り口を変え、発想の転換をしてやっていく時代になっているのかと思う。</p>
委 員	<p>スポーツゾーンの利用が多いが、スポーツゾーンでの大会利用者を青年の城で宿泊できるようにすれば、つまり、東西のアクセスを改善すれば青年の城をもっと使える。また、希望の橋は12トン制限がかかっており、大型バスは入れないが、大型バスが通れたら、さらに青年の城が活用される。個々には優れた施設が沢山あるため、それらをつなぐ手法を考える必要がある。</p> <p>また、地元の市町や団体に活用してもらうことも必要。また、日本庭園やかえでの森など、あまり知られていない施設もあり、周知が必要だと思う。</p>
委 員	<p>東西を車で通行できれば良いと思う。スポーツゾーンでの大会利用者が青年の城に泊まっている実績はどうか。</p>
事務局	<p>少年サッカーの全国大会があるときなどは、青年の城で泊まってもらえるような働きかけをしている。</p>
委 員	<p>野外活動ゾーンについては、宿泊定員が870人に対して利用が少ないため、資料15ページの方向1と方向2の間にもう一つ、現状でも規模を縮小するなど合理化できる案が出せるのではと思う。</p>
事務局	<p>選択肢の一つとして、規模を縮小する案もあると思う。</p>
委 員	<p>アンケート結果を見ているとトイレの改善要望が多いが、これについて</p>

<p>委員</p>	<p>はすぐにでも対応ができるのではないかと思う。</p> <p>また、今後、高齢化していく状況の中で、高齢者からの支持も得ないと施設自体の存在意義も問われてくる。例えば、散歩の休憩場所を作るなど、収益にはつながらないが、これから増えるであろう高齢者への配慮も計画に入れてはどうか。</p> <p>公園設立当初の考えで、小中学校の青少年を対象にした施設となっているようだが、今後、誰を対象にした公園とするのか。今後も青少年を対象とするのか、そうではなくファミリーを対象とするならば、宿泊施設も変えていかないといけない。例えば、モンゴルのパオは1つで結構広く20人は入る。それを建てると子どもたちは喜ぶし、ファミリーで泊まってみるという気持ちになる。</p> <p>また、西側から東側に来る交通がネックだが、その風景がとても素晴らしい。これを活かさない手はないと思う。ただ歩いて西側から東側に来るのではなく、様々な方法で見せること、つまり散策できるからここに泊まるなど、目的をしっかりと決めること。ターゲットと目的を決めて、計画を進めることが必要だと思う。</p>
<p>座長</p>	<p>ターゲットと目的と公園の資源のマッチングを考えることも必要。</p> <p>国営公園は1か所300haが標準であり、それよりも広いので、資源は、スポーツ施設とキャンプ場、宿泊施設だけではないと思う。現地の資源は何か、それをどう生かすかを考えることも大切だと思う。</p> <p>この公園を取り囲む山は、人工林が少ない。自然が豊かで、いろいろな虫や鳥、花があると思う。400haの公園に何があるのかをもう一度、考えることも必要である。長距離でのハイキングからの宿泊というパターンもある。日常のハイキングをする場所として良い場所だと思う。中高年はゆっくりと過ごしたいというニーズがあり、それをいかに取り込むかが課題となる。</p> <p>県議会へ報告するとなると、滋賀県の中での公園の位置づけを説明することが必要となると思う。</p> <p>この湖南地域は、文化、レクリエーション、環境、教育などを進める上で、どのような位置づけを目指しているのかを整理し、資源、県民のニーズをマッチングさせる。</p> <p>仮に民間を導入するとしても、「白紙で、はい、どうぞ」では、民間の言われるままになる。民間への役割、ターゲットなどの前提条件をはっきりしないと民間にも入ってもらいにくい。公園設置者側の狙い、期待するこ</p>

事務局	<p>となど、公園が県の施策推進上、どういう位置づけにあって、そのためにどういう資源を活かせるのかの検討があり、その上でやりたいことのいくつかのオプションがあるという順番になると思う。</p> <p>最終的には県としてどういう意思で、これらの施設をどの方向に持っていくのかがあった上での、手法（具体的な方策）になる。県議会、県民の皆様へも、そのような説明をすることになると思う。</p>
委員	<p>もう一度言うが、この学校への意向調査はやはり絶望的だと思う。この状況で、滋賀県で社会教育施設をやる意味があるのかと思える。当社でも奥琵琶湖マキノグランドパークホテルを運営しているが、これまでは中学校1年生のオリエンテーションで利用があったが、ここ3年間で滋賀県の公立学校の利用はほぼ無くなった。教育委員会も、事務局として、この懇話会の場に必要だと思う。県の税金を使っている以上、県内の子どもが利用することが当然必要だと思う。その点について、教育委員会として、どうしていくのかをしっかりと固めないといけないと思う。教育委員会とのディスカッションとその結果も教えてほしい。</p>
事務局	<p>この懇話会の前段階の、庁内での議論の際に、教育委員会関係所属にも入ってもらっている。結論は出せていないが、教育委員会の中でも施設の方向性の議論をしている。それらの議論と同時並行で検討を進め、方向性を絞っていくことができると考えている。必要であれば、懇話会の場にも教育委員会に出てもらうことも考える。</p>
委員	<p>兵庫県では、4泊5日の自然学校は全校実施、神戸市も全校実施、600校が使用することとなるため、施設も学校でいっぱいになる。そういうことが決まっていれば、これらの検討も必要ないと思う。</p>
座長	<p>県として、どういう方向性で行くのが決まっていないと議論も変わってくるため、まずは県としての方向性を決める必要がある。</p> <p>また、地元の野洲市、湖南市、竜王町とも密接に議論して進めていくことも大切だと思う。今日も地元の市町も来られていない。一番、密接に関係する教育委員会や市町と、まず意見交換し、どういうことが必要で、期待されるのかなど整理していくことが必要である。</p>
委員	<p>地元の市町とは定期的に話し合いをしているのか。</p>

事務局	<p>公益財団法人希望が丘文化公園が主催する運営協議会で説明させていただいているし、希望が丘文化公園のスポーツゾーンの施設整備については個別に説明している。ただ、方向性についてはまだ議論はできていない。これから議論していく予定。</p>
委員	<p>アンケート結果では、カフェが必要となっているが、安易にハードを作ることはしない方が良い。利用状況を見ると、イベント時しか利用しないなど、すぐに利用されなくなる。キッチンカーを利用するなど、ハードに頼らないやり方があるのではと思う。</p>
座長	<p>今回はサウンディングの結果、また本日ご指摘があった関係機関との調整の結果を教えてほしい。</p> <p style="text-align: right;">（ 以 上 ）</p>